



【今号の1枚】



JICA 東京では、JICA 留学生にも新型コロナウイルス予防のために、手洗い、マスク、ソーシャルディスタンスの確保の重要性を理解いただき、彼らの今後の日本での生活に役立ててもらうため、「JICA 健康と命のための手洗い運動」のロゴをプリントしたオリジナルマスクを作成し、来日後の JICA 東京での 2 週間の健康観察を無事終えた留学生に配布しています。

留学生の皆さんが手洗いとマスク着用を習慣としていただき、感染予防対策を正しく行いつつ、日本の生活に慣れてほしいですね。

写真は、退館時にオリジナルマスクを着用した留学生です。

引き続き、皆様からの手洗い啓発活動の写真を大募集いたします！

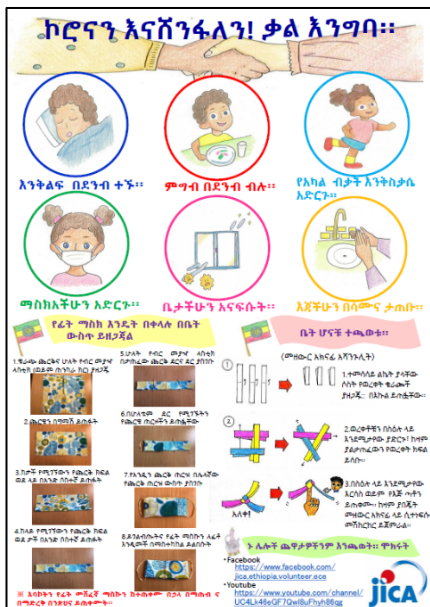
(写真提供：JICA 東京)



エチオピア幼児教育現場における活動 啓発ポスター「コロナに負けるな！」の制作

2万人以上の子どもたちに配布！！

「子どもたちが幼稚園に来られない状況ではどう指導したらよいかかわからない」と葛藤するエチオピアの幼稚園教員、「日本から任地の子どもたちに対して何かをしたい」とエチオピアへ思いを馳せる幼児教育隊員、双方のニーズが合致して【啓発ポスター：“コロナに負けるな！”】は制作されました。



ポスター コロナに負けるな！

エチオピアでは、コロナ発生以降子ども向けに予防対策などの情報が発信されていない現状がありました。このポスターは、親しみやすい内容で子どもたちの予防に対する意識を向上させる狙いがあり、これまでに首都アジスアベバ市内の幼稚園・小学校全 51 校に通う 20,403 人の子どもたちに配布されています。ポスターにはコロナ対策のほか、ステイホーム中に実践できるあそびや歌が紹介されており、ポスターを手にした子どもやその家族からは「イラストがかわいいので子どもの関心が高い」、「分かりやすく子どもに説明がしやすい」、「家族全員でマスクづくりをしている」といった感想をいただきました。また何より、日本に退避し長らくエチオピアに戻れない隊員が自分たちのことを覚えてくれていたことに、子どもたちの家族や教員は大変感謝をしています。

コロナ対策の一環でエチオピアでも人々の手洗い習慣は以前よりも改善していますが、個々人の衛生意識の向上には一層の努力が必要です。エチオピアでは歌や紙芝居を用いた手洗い指導も歴代の隊員によって実施されています。学校や幼稚園が再開した今、協力隊によって実施されたこれらの活動がコロナ禍でも活用されていることを願うばかりです。

(エチオピア事務所 企画調整員・ボランティア事業 原 理栄子)



配布時の様子 (園長→園児)

コロナの影響で幼稚園が休園になると聞いて子どもたちの為に出ることはないか幼児教育隊員で話し合い、ネット環境が不安定なエチオピアでもポスターなら沢山の人の見てもらえると思い作成に至りました。子どもたちにも分かりやすく、興味を持ってもらえるよう内容も工夫し隊員たちの想いがたくさん詰まったポスターになりました。配属先の先生が本当に喜んでくれ 1 枚 1 枚手渡しで保護者に配る姿をみて私たちの想いが伝わった気がしてとても嬉しかったです。

(幼児教育・183 次隊 森木田恵)

当事務局では、手洗い運動リーフレット、正しい手洗い漫画（井上きみどりさん）、ウェブサイト、ニュースレター等を通じて手洗いの呼びかけを行ってきました。その結果、手洗い運動開始から約3か月経過した2020年12月末までに日本国内17の部署・機関、及び海外35か国で110件の活動報告がありました。活動内容は様々ですが、「正しい手洗い漫画」の掲示、ソーシャルメディア投稿、衛生用品（石鹸、消毒液、マスク等）の配布、動画作成・投稿などが多く実施されています。実施予定の活動についても多々報告を受けており、今後も手洗い運動は世界中に広がっていく見込みです。また、「正しい手洗い漫画」は、2020年12月末時点で26言語に翻訳されており、更に広がりを見せています。

ニュースレターでは、各地の手洗い運動の様子を取り上げ、皆様へ共有・発信しますので、皆様の活動の参考にしていただければと思います。また、各種ツールもぜひご活用ください

また、JICA内では水資源ナレッジマネジメントネットワークのナレッジポータルサイトの[中に手洗い運動の特設サイト](#)を設けましたので、閲覧可能な方はぜひご覧ください。

「正しい手洗い漫画」翻訳状況
2020年12月末時点（準備中の言語を含む）

1	英語	14	ロシア語
2	フランス語	15	キルギス語
3	スペイン語	16	ビスラマ語
4	カンボジア語	17	ディベヒ語
5	テトウン語	18	ヒンディー語
6	スワヒリ語	19	ベンガル語
7	シンハラ語	20	ネパール語
8	タミル語	21	モンゴル語
9	マダガスカル語	22	ダリ語
10	ピジン語	23	パシュトゥン語
11	タイ語	24	インドネシア語
12	アムハラ語	25	ウクライナ語
13	アラビア語	26	タジキスタン語

手洗いプラットフォーム会員団体の紹介

今号より、「JICA 健康と命のための手洗い運動プラットフォーム」にご参加いただいている団体・企業の紹介をしています。初回は株式会社LIXILさんを紹介いたします。

株式会社LIXIL

Link to Good Living

◎団体概要

LIXIL-開発途上国向け簡易式トイレシステム「SATO」

LIXILは、トイレやキッチン、サッシなど住宅に関わる多彩な製品を提供する総合建材メーカーです。コーポレート・レスポンスイビリティ戦略の優先取り組み分野として「グローバルな衛生課題の解決」を掲げており、簡易式トイレシステム「SATO」を下水道の整備が十分ではない開発途上国へ展開しています。2025年までに1億人の衛生環境を改善し、生活の質を向上させることを目標としており、これまでに38カ国以上へ約430万台を出荷、約2,100万人の衛生環境改善に貢献してきました。※2020年9月時点

◎手洗い運動 **SATO Tap による手洗い普及**

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）やその他感染症への感染予防策として、手洗いは有効な手段です。しかし、世界に目を向けて見ると、こまめに手を洗うことすら困難な状況にある貧困層の人びとが大勢いるといわれています。そこでLIXILは、上下水道が整備されていない地域でも利用が可能な手洗いソリューション「SATO Tap」を2020年6月に開発しました。ペットボトル内の水と重力を利用した仕組みで、最小限の量で安定して水を放出できるよう設計され、石けんホルダーも付属しています。シンプルな設計と生産方法により、低コスト・低価格を実現しています。

◎Webサイト

LIXIL 公式サイト :<https://www.lixil.com/jp/>
SATO 公式サイト :<https://www.sato.lixil.com/>

◎連絡先

株式会社LIXIL SATO事業部
坂田 優 suguru.sakata@lixil.com

当プラットフォームへの参加は随時受け付けていますので、参加を希望される方は、事務局(Handwashing@jica.go.jp)までご連絡ください。申込書を送付いたしますのでそちらへ記入してご返信ください。（申込書は[ウェブサイト](#)の「5.会員登録案内」からも入手可能ですので、記入したものを送付くださっても結構です。）

本ニュースレターに掲載・共有したい記事・写真・情報等を随時募集しています！
①配信／配信停止の希望、②記事掲載の希望、③本メールマガジンの表示不具合などのほか、ご不明な点やご要望、ご感想がございましたら、下記の編集・配信担当支援スタッフまでご連絡ください。